

最新の文化財情報トピックス



伊勢市の機構改革に伴い令和3年4月1日付けで、教育委員会事務局文化振興課から情報戦略局文化政策課に変わります。それに伴い執務場所が小俣総合支所の1階となりますので、来所の際はお気をつけください。
電話番号・FAX番号・メールアドレスも下記のように一部変更しますので、ご注意ください。
TEL:0596-22-7884 FAX:0596-22-3454 E-mail:bunka@city.ise.mie.jp

宮川堤桜たより

1 昨年2月に行った「宮川堤桜樹再生プロジェクト」での土壌改良の経過確認調査を行いました。下の写真のように土壌改良後の根は、養分を吸い上げるための細かな根が多く出ています。

2 今年も4本の桜に対して、土壌改良を実施しました。引き続き土壌改良を行った桜の経過観察を行いながら令和3年度は、樹木医による桜に関する講習会などを企画していく予定です！

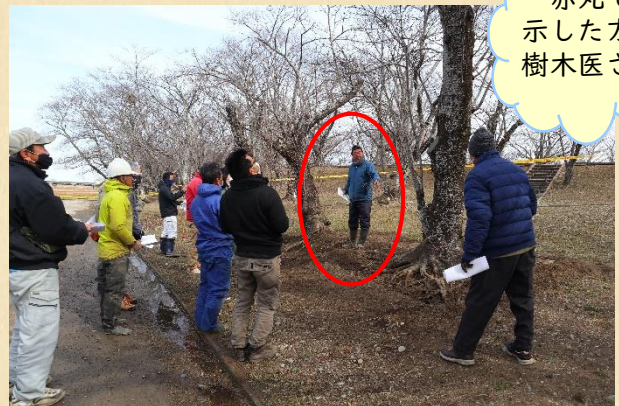
ビフォー



撮影日:2020.2.26

1年後!

細い根がほとんどない



撮影日:2020.4.21

樹木医に生育状況、今後の樹木再生などについて、解説してもらいました!

赤丸で示した方が樹木医さん

解説

アフター



撮影日:2021.2.27

養分を吸い上げるための細い根がかなり多く伸びています!

細い根が多く伸びている



撮影日:2020.8.11

左写真の桜の本体です。

赤丸の部分が左に示した桜樹の根の場所

木の全景

オヤネザクラの土壤改良について

オヤネザクラ(お屋根桜)は、伊勢市岡本三丁目の国史跡旧豊宮崎文庫内に2株残っている市天然記念物です。豊宮崎文庫の創設の時、その主唱者の一人出口延佳の家の屋根に生えた苗を移植したとも、外宮正殿の屋根に生えた桜を移植したとも言われています。

市では、平成28年度から30年度にかけて練堀(ねりべい)上にあるオヤネザクラの樹勢回復のために土壤改良を行いました。土壤改良により樹勢が回復し、再生した幹が大きくなり育つようになりました。

今年度は、孝経碑(こうきょうひ)の西側にあるオヤネザクラを対象に行いました。施工方法は地面を深さ50cmまで人力で掘り、掘った所にバーク肥料・セラミック炭等の土壤改良資材を投入しながら人力で埋め戻しました。

来年度も引き続き実施する予定です。樹勢が回復したオヤネザクラの姿を見るのが楽しみです。



【土壤改良の様子】

令和2年度文化財関係補助事業

重要文化財 旧寶日館耐震診断事業について



【2階大広間(120畳)】

旧寶日館は二見興玉神社近くの旅館街にあり、市が所有・管理している国の重要文化財建造物です。明治20年(1887)に伊勢神宮にお参りする賓客の休憩・宿泊施設として建てられ、昭和時代前期の大規模な増築・改修により現在の形となりました。資料館として公開しており、建物の外部や内部を見学する事ができます。

平成31年4月から2年間で、国・三重県から補助金を受けて、地震から建物を守るための調査を実施しています。今年度は耐震診断を実施し、補強案を策定しました。来年度は耐震対策工事の基本設計を行う予定です。

登録有形文化財 麻吉旅館美観向上整備事業について



【修理工事の様子】

麻吉旅館は伊勢市中之町にあり、江戸時代末期に建てられた、懸造り(かけづくり)の建物で、本館、土蔵、聚遠楼(じゅえんろう)、名月・雪香之間(めいげつ・せっこうのま)、前蔵の5棟が、国の登録有形文化財建造物に登録されています。現在も旅館として営業しています。



【聚遠楼】西から撮影

国・伊勢市から補助金を受けて、今年度は聚遠楼の屋根を修理し、建物の外観をきれいにしました。来年度も引き続き本館の屋根と前蔵の屋根・外壁等を修理する予定です。